

呉工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	校外実習
科目基礎情報						
科目番号	0206			科目区分	専門 / 選択	
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電気情報工学科			対象学年	4	
開設期	集中			週時間数		
教科書/教材						
担当教員	横瀬 義雄					
到達目標						
1. 校外実習の趣旨と概要を理解する。 2. 実習先の調査、条件等を把握する。 3. 現場の実情に触れることによって、技術に対する社会の要請を知るとともに、学問の意義を再確認する。 4. 学問と生産の関連を体験することにより、自己の能力を開発する基礎を養う。 5. 技術者としての問題意識を養い、卒業研究における自主性を高める。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	実習先の調査、条件等を詳細に把握する		実習先の調査、条件等を把握できる		実習先の調査、条件等を把握できない	
評価項目2	現場の実情に触れることによって技術に対する社会の要請を知るとともに学問の意義を適切に再確認できる		現場の実情に触れることによって技術に対する社会の要請を知るとともに学問の意義を再確認できる		現場の実情に触れることによって技術に対する社会の要請を知るとともに学問の意義を再確認できない	
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	校外実習期間（企業や大学等）において、夏期休業中に実習を行い、技術に対する社会の要請を取得するとともに、学問の意義を理解し、エンジニアとしての自主性を養成する。					
授業の進め方・方法	校外実習を行う。					
注意点	生産現場で実習体験を行うことになるので、安全には十分に注意すること。就職前に学問と実践を体験することにより、学問の意識を再確認することができる。また、就職先を決定する際の大きな要因となるので、できるだけ多くの学生が参加すること。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	実習の概要説明			
		2週	実習の実施			
		3週	実習の実施	夏期休業期間を利用して実習を行う		
		4週	実習の実施	夏期休業期間を利用して実習を行う		
		5週	実習の実施	夏期休業期間を利用して実習を行う		
		6週	実習の実施	夏期休業期間を利用して実習を行う		
		7週	実習の実施	夏期休業期間を利用して実習を行う		
		8週	実習の実施	夏期休業期間を利用して実習を行う		
	2ndQ	9週	実習の実施	夏期休業期間を利用して実習を行う		
		10週	実習の実施	夏期休業期間を利用して実習を行う		
		11週	実習の実施	夏期休業期間を利用して実習を行う		
		12週	実習の実施	夏期休業期間を利用して実習を行う		
		13週	実習の実施	夏期休業期間を利用して実習を行う		
		14週	実習の実施	夏期休業期間を利用して実習を行う		
		15週	実習の実施	夏期休業期間を利用して実習を行う		
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				

		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	30	0	0	70	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	15	0	0	35	0	50
分野横断的能力	0	15	0	0	35	0	50